

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	環境政策課長 湊 直樹	電話番号	0852-22-5345
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	穴道湖・中海湖沼水質保全調査・研究事業費		
目的	(1) 対象	穴道湖・中海周辺住民	
	(2) 意図	新たな水質浄化対策を構築し、今後の水質保全対策に資する	
事業概要	穴道湖及び中海の水質保全を図るため、第6期湖沼水質保全計画（計画期間：平成26年度～平成30年度）に基づき各種施策を総合的かつ計画的に推進する。 ・第6期湖沼水質保全計画の周知・広報 ・水質汚濁防止対策協議会、中海会議等の実施 ・穴道湖・中海の水質に係る調査研究、アオコ回収、汚濁負荷量の集計等 ・住民共同を目的とした、「五感指標」普及、「みんなで調べる中海流入河川調査」の実施		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		70.60	100.00	100.00	100.00	
		(目標値達成地点数/環境基準地点数) × 100	実績値	64.70	64.70	70.60	88.20		%
			達成率		91.60	70.60	88.20		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	37,330	28,984
うち一般財源(千円)	37,330	28,984

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

環境基準地点17地点中15地点で目標値が達成され目標達成率は88.2%となった。また、昨年度よりも17.6%改善された

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・目標値の達成地点が増え達成率は88.2%となった
- ・穴道湖・中海に流入する負荷はわずかず減少している
- ・広域的なアオコの発生がなかった

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・平成26年度は前年度に比べ水質が改善されたが、その理由は夏の低温等の気象条件によるものが大きいと解析しており、例年の気象であれば水質も例年並みとなる可能性が高い
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・流入する汚濁負荷量の減少幅が小さくなっている。汚濁負荷削減の余地が少なくなってきたこともある
 - ・穴道湖・中海の汚濁メカニズムについて、未解明な部分が多い
- ③原因を解消するための「課題」
- ・穴道湖・中海に流入する汚濁負荷を減らす必要がある
 - ・複雑で未解明な部分も多い汽水湖の汚濁メカニズムの解明に向けた調査を継続する必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・引き続き、穴道湖・中海に流入する汚濁負荷の削減を進めていく
- ・上下流の市町の連携による取組や公民館との協力により、流入負荷削減に向けた普及啓発の工夫を図り取組を推進する
- ・汽水湖の汚濁メカニズムの解明に向け、調査を継続していく
- ・アオコの発生原因解明のための調査を実施するとともに、アオコの大量発生に備え、アオコ回収の実証試験を行う

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）